

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福島県 】

1 実践テーマ	【 III・V 】
2 実施対象者	福島市立佐原小学校 全校生31名 1年8名 2年2名 3・4年11名 5・6年10名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育・総合的な学習の時間） ② 行事名（修学旅行・佐原っ子フェスティバル） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	ボッチャの体験を通して、スポーツの楽しさや素晴らしさ、奥深さを学び、障がい者を含めた多くの人々とともに、生涯を通じて主体的にスポーツに参画することができるようにする。
5 取組内容	(1) 福祉についての学習 5・6年生は1学期に総合的な学習の時間で福祉についての学習を行った。アイマスクや車椅子体験などの学習を通して障がい者の立場に立った見方、感じ方について理解した。 (2) 修学旅行 9月の修学旅行でパナソニックセンターを見学し、ボッチャ体験をした。ボッチャという競技があることをほとんどの子どもは初めて知り、パラリンピックの正式競技についての理解を深めた。



(3) ボッチャ体験教室



全校生でボッチャのコーチや選手から話を聞き、体験する学習を実施した。パラリンピックでのボッチャ競技の実際の映像を見たり、選手の話の聞いたりすることで、障がい者に対して抱いていたイメージとは、異なることに気づくことができた。また、ボッチャのルールを教わり、チームに分かれて、簡単な試合を行うことで競技の難しさや奥深さ、スポーツの楽しさを感じ取ることができた。

(4) 佐原っ子フェスティバル

3・4年生は学習発表会でオリンピックに関する歴史などにもふれながら、組体操やなわとび、アテネオリンピックのテーマソング「栄光の架橋」の合奏などを発表することができた。

2020年、自分たちの住む佐原で東京オリンピック・パラリンピックが開催される喜びを保護者、地域の皆様に身体いっぱい表現した。



	<p>(5) パラリンピックについての学習</p> <p>5・6年生は、パラリンピックについて継続して学習し、共生社会について考えるとともに、2020年に行われる東京オリンピック・パラリンピックを福島の開催地域としてどのように応援していくのかについて話し合うことができた。</p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ パラリンピックの正式種目であるボッチャ競技について知り、全校生で体験することができた。 ○ ボッチャ競技全日本チームのコーチやボッチャ競技の選手に会って、実際に話を聞く機会を設けたことで、児童の関心・意欲を高めることができた。 ○ 本校は小規模校で縦割り班活動が盛んであるが、ボッチャ競技は1年生から6年生が一緒に考えながら楽しめるスポーツであることを再認識した。 ○ 3・4年生はオリンピック・パラリンピックが開催されるあづま野球場に隣接する小学校に在籍していることに誇りを持ちながら、「佐原っ子フェスティバル」の発表を行うことができた。 ○ パラリンピックの学習を通して、障がい者に対するイメージが変わり、スポーツを通じた共生社会への気づきを得ることができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5・6年生の総合的な学習の時間での学習と関連させながらオリンピック・パラリンピック教育を推進することができた。 ○ オリンピック・パラリンピック競技の開催地に最も近い小学生であることを子ども達に動機付けにさせながら事業を展開することができた。 ○ ボッチャ競技のナショナルチームのコーチと本市の選手を招いて、ボッチャ体験教室を実施することができた。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年は、年度の途中から、オリパラ教育の推進校に決定したこともあり、教育課程への時数を確保しておらず、年間を見通した事業が実施しにくかった。 ○ 全校をあげて、事業を推進したいところではあるが、発達段階を考慮し、低学年においては、ボッチャ体験教室に参加するのみの活動とした。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピック・パラリンピック教育の時間を総合的な学習の時間に位置づけ、本事業を継続して実施する予定である。本校は、2020年福島の開催地である「あづま野球場」に最も近い小学校でもあるので、オリンピック・パラリンピック教育を通じてさらに気運を盛り上げていきたい。